

100種100様のモノづくり



三作合成ゴムでは

卓越した技術と豊富な経験を基に様々なお客様のニーズに応え
将来にわたって成長、発展しつづけます。

主要産業用製品・設備

1 一般型物ゴム

各種用途に応じた天然ゴムから多種合成ゴムの成型加工
スプリングゴム カバーゴム スペーサーゴム 軌道パット
パッキン ストッパーゴム リンパローラー等



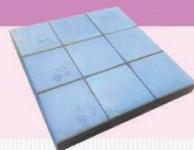
2 ウレタンゴム

高硬度、高弾性など優れた機械的性質をもつ注型タイプの合成ゴム成型加工
高硬度ローラー ウレタン車輪 ウレタンパイプ ウレタンライニング
ウレタン注型加工品 等



3 セラミックゴムライナー

ゴム材料を鋼板とセラミック間に焼付接着させたプレート
セラミックの耐摩耗性とゴムの耐衝撃性を兼ね備えている



4 機械・設備

混練機械(ミキサー)(1台) 予備成型機(1台) ミキシングロール(3台)
63~900tプレス (20台) 350~500t真空プレス (3台)
ウレタン注型機 (2台)



製造技術

～一般型物ゴム～

配合設計

多くのゴム材料の中から用途に合わせ材料を選定する。
製品に求められる性能をクリアするため、材料(ポリマーやカーボン等)の種類と
使用量を決め、配合表を作成する。

精練工程

配合表をもとに材料を調合し、混練機械とミキシングロールを用いて、材料を練り合わせる。

材料試験

練り合わせた材料が要求を満たしているか分析する。
(比重測定・ムーニー粘度・引張強度他)

予備成型

練り合わせた材料を押し出機や打ち抜き機で形状・重量を調整する。

加硫成型

予備成型後の材料を金型にセットし、加圧・加熱し加硫反応(弾力のあるゴムに
する。)させ金型の形状に焼き上げる。

仕上げ

ハサミや特殊工具を用いて、一つ一つ丁寧にバリを除去する。

完成品検査

外観検査、寸法検査、硬度など要求品質を満たしている事を確認する。

～ゴム物性一覧表～

NR (天然ゴム)	特徴	工業用原料ゴムのなかで唯一の天然素材であり、ゴム弾性や耐摩耗性が良い。
	用途	大型自動車用タイヤや関連製品、履物、ホース、ベルト
SBR (スチレン・ブタジエンゴム)	特徴	天然ゴムの代用として開発。天然ゴムより耐摩耗性、耐老化性が良い。
	用途	自動車タイヤ、天然ゴム同様にすべてのゴム製品、防振ゴム、ロール、ベルトなどの工業用ゴム製品
EPDM, EPDM (エチレン・プロピレンゴム)	特徴	耐熱性、耐オゾン性、耐候性に優れている。
	用途	自動車用ゴム部品(ウェザーストリップ等)、電線被覆、建設用ゴム部品
CR (クロロプレンゴム)	特徴	耐熱性、耐候性、耐オゾン性、耐炎性、耐油性などに優れている。
	用途	過酷な使用条件を要求されるゴム製品(自動車部品、防振ゴム、窓枠、ベルト、ホース)
BR (ブタジエンゴム)	特徴	SBR、NRと比較して、耐摩耗性、反発弾性、耐老化性が優れている。
	用途	ベルト、ホースなどの工業用品、履物、タイヤ
U (ウレタンゴム)	特徴	合成ゴムの弾性とプラスチックの剛性を併せ持っている。力学的強度が良い。
	用途	工業用ロール、ホース、ベルト、自動車部品、パッキン、カップリング

会社概要

社名：三作合成ゴム株式会社
所在地：〒836-0061 福岡県大牟田市新港町 6-21
連絡先：TEL：0944-52-1719 FAX：0944-52-4259
創業：昭和38年
設立：昭和59年 4月
資本金：10,000,000円(株式会社 三井三池製作所100%出資)
社員数：21名(令和3年4月末現在)
年商：243百万円(令和3年度実績)

沿革：昭和36年12月 米国JOY社と技術提携
昭和38年 6月 株式会社 三井三池製作所渡瀬工場
にてリンパローラの生産を開始
昭和57年12月 現在地へ移転
昭和59年 4月 「三作合成ゴム株式会社」として独立
平成 2年 1月 Barwell押し機導入
平成 8年 2月 パンバリーミキサー導入
平成11年 4月 ウレタン注型機導入
平成27年 1月 新事務所竣工
令和 5年 2月 真空プレス機導入